

「人類生態学」の講義ではグループワークを行います。目的は、人類生態学に関するテーマについての論文・資料・コラムなどを題材にして、自主学習をおこなうことにより、講義をうけるだけでは習得できない「学習の方法」を学ぶことにあります。また少人数のグループで教官と話すことにより人類生態学についての理解をふかめるというねらいもあります。

平成19年度は、6月19日に第1回目のグループワークを行います。講義履修者は4グループにわかれ、それぞれのグループが以下に提示するテーマのうち1つを担当してください。(グループごとの人数がだいたい同じになるように皆さんで調整してください)。6月19日の集合時間は9:30とします。集合時間に遅れた学生には、グループワークへの参加を認めませんので、集合時間に遅れることのないように十分注意してください(グループワークへ参加しないと単位を取得できません)。

第一回目のグループワークでは、担当教官とともに勉強するテーマについて学習のポイントを整理します。その後、グループで分担して自主勉強をおこない、その成果について7月17日にグループあたり30分の発表をおこないます。この発表が、他のグループに勉強の機会になるので、自分のグループの発表は責任をもっておこなうよう努力してください。

<グループワークの課題>

「持続可能性の指標」

担当教官： 渡辺知保

「バイオエタノールは地球を救うか」

担当教官： 梅崎昌裕

「エピジェネティクス ―ヒトの個体差が生まれるのはなぜ？」

担当教官： 清水 華

「少子化の要因」

担当教官： 福山祥子

(資料は、6月19日に配布します。)